

公益社団法人 東大和市 シルバー人材センター広報誌

け や き

〒 207-0015 東大和市中央3-912-3

電話 042-565-0531 FAX 042-566-2308 <https://www.silver-center.org/>



福祉祭参加 (寄付販売)



健康促進事業 (多摩湖ウォーキング)



ボランティア活動 (道路美化清掃)



狭山公民館 除草作業 (除草班)

謹賀新年



会員の皆様の幸多き一年となりますよう
ご祈念申し上げます

◆ 新年を迎えて	2
◆ 各委員会報告	3
◆ ボランティア活動報告	4
◆ 福祉祭参加報告	5
フリーランス法施行に伴う 契約方法の見直しについて	
◆ おしゃべり広場	6
◆ センターPR活動 & 会員作品展報告	7
◆ 東大和警察署からの連絡	
◆ 今後の予定	
◆ 就業相談日 日程表	
◆ 事務局からの連絡	
◆ 編集後記	8

正会員数 (12月1日現在)

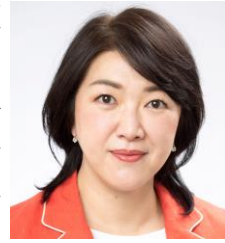
男性	433名
女性	186名
合計	619名

新年を迎えて

公益社団法人
東大和市シルバー人材センター

名誉会長

東大和市長 和地 仁美



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東大和市シルバー人材センターの役員並びに会員の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。また、日頃より市政へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴センターは、これまで多くの会員の皆様に多様な就業機会を提供していただいております。シニア世代の生きがいの確保に貢献されてこられました。全国的には、シルバー人材センターは、企業の定年延長などの影響を受けて会員の確保に苦労されているとのことですが、貴センターにおかれましては、女性の就業を意識した就労先の開拓に鋭意取り組まれており、その結果、

女性会員が増加したと伺っております。会長をはじめ、役員、関係者の皆様の並々ならぬご尽力に、心から敬意を表すものであります。

貴センターの取組により、地域で就労された会員の皆様は、仕事を通して地域社会へ貢献してくださっており、その活動が介護予防や健康寿命の延伸にもつながる、大変意義のあるものと認識しております。

さて、今年の干支である巳年は、「巳」を「実」に掛けて、「実を結ぶ年」と言われております。貴センターの取組が、シニア世代が活躍する活力ある地域社会の実現という素晴らしい実を結ぶことを、心より願っているところであります。

市といたしまして、シニア世代の皆様の健康と生きがいのある生活のために、高齢者福祉行政を推進してまいりますので引き続きのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたりまして、東大和市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人
東大和市シルバー人材センター

会長 峯 信夫



新年あけましておめでとうございます。役員及び会員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より皆様には、各種事業及び催事への参加など、ご協力を賜り大変感謝しております。

本年は十二支の六番目にあたる巳年即ち蛇の年であります。蛇は復活と再生・沈着と冷静の特性があり、努力や準備を重ねることで、物事が実を結ぶと言われております。当センターの運営においても通じるものがあると感じております。

昨年中頃より、新型コロナウイルス感染症もようやく下火になりはじめたと思う間もなく、インフルエンザやマイコプラズマ肺炎が流行するなど、感染症対策では予断を許せない状況が続いております。また、気候変動に伴う猛暑により、昼夜を問わず過酷な生活を強いられることも常態化している昨今です。安全就業を図るうえでも、健康管理を最優先に、一年間を過ごしてまいります。

さて、昨年11月より施行された「フリーランス法」への対応としてデジタル化を推進すべく取り組みました「Smile to Smile（スマイルトゥスマイル）」の導入にあたり、短期間にもかかわらず多数の会員の皆様が登録してくださいました。昨年のご挨拶で申し上げましたデジタルトランスフォーメーション（DX）の進展に一步近づけたものと実感しております。本年4月からの本格稼働に向けて、この普及には注力してまいります。さらに、6年度事業の重点目標であります「会員拡大の推進」では、特に女性会員の増強を図るために新たな取組に力を入れており、「女性活躍事業準備会」を立ち上げ、当センターでは初となる女性限定の入会説明会を開催しました。女性会員数の増加には成果を上げられていることから、本年もこの取組の充実を図ってまいります。「人生百年時代」と謳われる今日、働き方や生き方、健康に対する価値観などに大きな変化が起こるものと考えられています。公益社団法人として当センターも自覚をしつつ、東大和市が掲げる基本施策「健康であたためたい心のかよいあうまちづくり」に貢献できるように邁進していきたく思っております。結びに、会員の皆様のご発展とご健康を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

総務委員会

委員長 西永 宣昭

新年あけましておめでとうござ
います。

今年の総務委員会は、9月12日
(木)に東大和病院専門スタッフの
全面的協力を得て、健康増進事業
「認知症の理解と対応」について
講演会を開催し、多くの参加者か
ら好評を得ました。

「シルバー人材センター紹介&
会員作品展」は、12月16日(月)か
ら20日(金)までの一週間、市役所
ロビーで開催し、市役所を訪れる
方々にシルバー人材センターを紹
介するとともに、会員の美術作品
や手工芸品等の力作を展示し、ご
覧いただきました。

また、女性限定の出張入会説明
会を開催し、女性活躍事業準備会
の初事業として、令和7年2月には
「いきいき美容教室」を開催い
たします。

3月の「ウォーキング」は、東
大和市の歴史探訪を兼ねた魅力あ
るコースと内容で実施いたします。
今後とも会員皆様のご協力と積
極的なご参加をお願いいたします。



謹んで新春のお祝いを申し上げます。
昨年は、大きな変革として11月
から「フリーランス法」が施行さ
れました。
主な変更点としては、就業時に
交付される「就業条件明示書」等
の書類がかなり詳細で大量なもの
となります。スムーズに移行する
ための手段として、当センターで
は会員向け専用サイト「Smile.s
o.jp」(スマイルトゥスマイル)と
スマホ等を活用したデジタル化
を推進することで、事業委員会を
中心に作業を進めてまいりました。
8月に東京しごと財団主催の同
サイトの「講師養成講座」に委員
3名が参加し、会員の皆様へは9
月から12月までに計8回の「利用
登録講習会」を実施いたしました。
11月より試験運用を開始し、本
年4月より本格稼働の予定です。
事業委員会では円滑な運用サポー
トに専念するとともに、新入会員
研修会用のスライド変更作業も行
います。
今後とも、会員の皆様のご理解
とご協力を賜りますよう、よろし
くお願いいたします。

事業委員会

委員長 田中 雅城

新年あけましておめでとうござ
います。

昨年も次のとおり、イベント開
催や広報誌発行に取り組みました。
① ボランティア活動
「道路美化清掃」 10月17日
当日は、担当及び会員27名が、
当センターに集合し、周辺3コー
スに分かれて活動を実施しました。
周囲からは励ましの声援をいた
だき、とても励みになりました。

② 社会福祉協議会主催
「福祉祭参加」 11月12日
シルバー会員から概ね130品
目集まった寄付品を来場者に販売
し、その売上金3万1470円を
社会福祉協議会に寄付をいたしま
した。当日は小雨模様の時間帯も
ありましたが、大勢の方が来場さ
れていました。
会員皆様のご協力ありがとうございました。

③ 広報誌「けやき」発行
令和6年度中に「けやき」は4
回発行いたしました(148号)。
今後とも、会員及び理事の皆様
のご協力の賜物です。

今後とも、会員皆様の数多い投
稿をお待ちしております。



広報委員会

委員長 福田 一彦

新年あけましておめでとうござ
います。

昨年10月以降の活動状況につい
て、次のとおり報告します。
・11月26日に中央公民館ホールで
北多摩西部消防署のご協力の下、
23名の参加を得て「応急救護訓練」
を開催しました。緊急時の救命行
動に自信が持てるよう継続的な受
講をお願いいたします。

・12月3日に東京しごと財団の安
全就業巡回指導を受けました。
【午前】清掃と植木剪定業務の現
場を視察いただき、①自転車運
時、荷物は前カゴには載せない。
②階段に手すりがないので壁面を
使うなど転落に注意。③階段上面
の樹木剪定時、脚立の設置に注意。
④庭先の隣家との境は崖下のため
落下しないよう注意。以上のような
指導がありました。

【午後】就業全体を通じて、①令
和2年度以降の傷害・賠償事故は
改善傾向にあり望ましい。②当セ
ンターは転倒・自転車事故が多く
事故防止への取組を継続する。③
植木剪定は市民ニーズが高いため
植木班に向けて更に安全教育強化
と業務品質向上に取り組み。④会
員個々に健康管理の徹底とフレ
イル予防の意識付けをお願いした
などの講評がありました。

・3月4日予定の転倒防止講習会
は、新たな講師を迎え内容も一新
する計画です。ご期待ください。

安全管理委員会

委員長 窪田 進

ボランティア活動報告 「道路美化清掃」

広報委員会 福田一彦

この活動は、東大和市内の事業所や地域住民からの仕事の提供に對して感謝の意を表し、シルバー人材センターの公益性や地域に根差した組織であることをアピールするための無償貢献活動です。

●日時 令和6年10月17日(木)
9時集合／9時45分出發

●集合場所 当シルバー人材センター

●実施地域 市内3コース(中央・南街・仲原・立野・上北台)

●参加人数 27名

●実施要項

9時45分から3コースに分かれて市内を巡回し、道路美化清掃を実施する。

当日の朝に降りはじめた小雨も開始前にはすつかり上がり、やる気満々の面々が集合されました。

開始にあたり、峯会長の挨拶と市の伊野宮地域福祉部長から「地域のために貢献してくださり、皆様には大変感謝しています」との励ましのお言葉をいただきました。ラジオ体操で十分に身体をほぐしたのち、3コースに分かれて目的地へ出發。この様子は各コース責任者がまとめた下記の報告のとおりです。参加者のご協力のお陰で無事活動が終了できました。本当にありがとうございます。



Aコース (青梅街道～富士見通り～いちよう通り～新青梅街道)
久々の清掃活動を9名で行いました。市民の方からは「苦勞様」「この団体なの？」とお声掛けいただき、当センターのアピールができたと思います。清掃活動中は仲間との会話が楽しかったです。今後は、東大和市駅周辺等を清掃してはどうかとの意見もある中、1チーム10～13名に増員して、さらに交流を図りたいと思います。



Bコース (新青梅街道～東京街道～けやき通り～中央通り)
新青梅街道では、歩道の自転車走行に気を配りながら清掃活動に励みました。周辺の住民には当センターの存在をPRできたことと実感しています。また、活動中に会員相互の交流が図れ楽しめました。なお、班員が7名と少なく、よりにゴミの重さを痛感したところがあります。自分達の活動で沿道がきれいになり、地域貢献できました。



Cコース (新青梅街道～芋窪街道～西側の通り～中央通り)

新青梅街道を上北台方面に進み、上北台市民センターで休憩を取りました。会員の感想として「思っていたよりもゴミが少ない」との声が聞こえました。「ここまで来たからには、この先、玉川上水駅まで進むと、もつとゴミが拾え、さらに当センターのアピールにもつながると思いますよ」と、前向きな意見があがっていました。



第47回福祉祭参加報告

◆日時 令和6年11月10日(日) 10時～14時30分
◆場所 東大和市役所中庭

この活動は、社会福祉協議会が主催し、各協力団体等が共にイベント会場内ブースにて物品販売を行い、その収益により、福祉団体及び社会福祉協議会の財源の充実を図ることを目的としています。

本年も、シルバー人材センター会員の皆様から寄付をしていただいた130点余りの日常生活用品等を当日販売いたしました。

特に、洗濯洗剤やタオルセット、また、お楽しみ袋と称した詰め合わせセットの売れ行きが良く、好評でした。皆様の御陰で販売ブースが来場者でいっぱいになりました。当日は、小雨模様の間も活気が溢れていました。

皆様の協力のおかげあって、売上金3万1470円を社会福祉協議会に寄付いたしました。

昨年と比べて、売上金額は約1万円ほど減少しましたが、予定売上額を基準とした販売率は55%から65%と10%も伸び、残品が少なかったことが何よりでした。ご協力いただきました会員の皆様、会場にお越しの皆様、ありがとうございました。

(広報委員会)

【福祉祭に参加して】

桜が丘C 井口一男

11月10日(日) 社会福祉協議会主催の福祉祭に、シルバー人材センター広報委員として、ブースで会員の皆様からの寄付品販売を行いました。

当日は、曇り時々晴、また時々雨の不安定な空模様でしたが、10時からの販売にもかかわらず開始前に品定めする方もいて、「時間まで待つてください」と慌ただしく始まりました。

開始30分後には、洗剤・タオル類の人気品が飛ぶように売れてしまいましたが、オムツ・日用雑貨・洋服等がなかなか売れず、掛け声で何とか8割が捌けました。「安くして」との要望に思い切りの値引きも行いましたが、「寄付金活動です」と理解を得ることも大切でした。午後になると雨のせいもあり、来場者がガタツと減ってしまい、14時過ぎの終了まで寒さに耐え皆で頑張りました。

来年も人気品を揃えて、寄付金の増額に寄与したいと思いましたが、



「フリーランス法施行」に伴う契約方法の見直しについて

昨年11月、フリーランス法が施行され、新しい契約方法が義務付けられました。この法律は、フリーランスと依頼者との関係性を明確にし、取引の透明性を高めることを目的としています。フリーランスのみなさんは、この法律を機に、自身の契約内容を見直し、必要な変更を行うことが重要です。また、依頼者側も、この法律を遵守し、適切な契約を締結する必要があります。



おしゃべり 広場

「元気にボランティア活動」 奈良橋B班 河村 弘章

私が初めてボランティア活動に参加したのは、平成24年にシルバー人材センターに入会して4か月の時でした。それは行事等に参加して、会員番号「2978」を知ってもらおうと出席したのですが、偶然にもその日に仕事が決まりました。このことが今でも記憶に残っています。何年か前のボランティア活動のことですが、その時のポイ捨ては、タバコ、空き缶、ペットボトル、菓子袋、破れた傘等で集められました。ゴミがシルバー人材センターの集荷場所に山の様に集まったことを覚えていません。

会員皆さんの趣味、健康管理、危機管理などを気軽にコラムとして、紹介する広場を設けています。
掲載を希望する方は、シルバー人材センター事務局、または、広報委員会までご連絡ください。多くの方々からの投稿をお待ちしています。

9名の仲間と上北台方面へ出発すると、ゴミはタバコの吸い殻がほとんどで、交差点になるとポイ捨てが多くなります。

そのまま消防署まで歩き、左折しその先には広場があり、一緒に会員が園児と何か話しをしています。その先の上北台市民センターで休憩しました。集合写真も撮りました。ここから中央通りに入ると、ゴミが増えてきました。ゴミが入った5リットルビニール袋のポイ捨て、空き缶、タバコの空箱等、皆、袋がいっぱいになりました。少しは役に立ったかなと思いましたが、気がつけば3キロ強のゴミ拾い、気持ちのいい汗をかきました。シルバー会員の元氣な働きぶりをPRし、未加入の方々に私も頑張ってみるかと思えます。私も頑張ってみるかと思えます。



「93歳！苦勞とやりがい」

清原A班 前原 惠二

昭和6年生まれの93歳です。武蔵野美術大学の職員として平成4年まで勤務し、退職後に東大和市役所から声が掛かり、ホテルの保全活動が始まりました。広島県の山の中で生まれ育ったため、幼少期からホテルは身近な存在でした。昭和43年にたまたまラジオで「武蔵野市でホテルが発見された」というニュースを聞き、東京でのホテルは珍しいと思ったことから、ホテルの研究を始め、今でも続けています。

これは偶然なのですが、私がホテルの研究を始めた年に「全国ホテル研究会」が発足したので、すぐに入会しました。初代会長である南喜市郎（みなみきいちろう）さんの影響は大きく、彼の著書を図書館で一週間かけて書き写すなど、生態を調べるところからスタートし研究に没頭していききました。同じく全国ホテル研究会の会員であった東村山市役所の職員の方と意気投合し、様々な場所でホテルの保全活動を行っていたことで、平成4年に東大和市役所からホテルの相談をきっかけに東大和市との関わりあいが始まりました。



そして、平成5年からは「トウキョウサンショウウオ」の保全活動にも関わり始めました。市内のある場所ですりガニ捕りをしてきた子どもたちが、トウキョウウサンショウウオの卵を、卵だとは気付かず道路に投げていたそうで、その様子を見た近所の方が市役所に連絡し、調べたところトウキョウウサンショウウオの卵だということが判明したんです。そこでホテルの保全活動で、すでにつながりがあった私のところへ相談がありました。ホテルと同様に生態を調べることから始めました。

苦勞をしたのはエサやりです。研究を重ねていくと、動くものを食べていることがわかり、イトミミズを買ってきて与えると食べてくれました。が、水槽にイトミミズをそのまま入れてしまうとサンショウウオがイトミミズをなかなか捕まえないので、イトミミズを金網に入れて水槽に投入し、金網の穴から抜け出そうとすると、そこを食べさせることで何とか解決しました。何事も、試行錯誤しながら答えをみつけてきたので、サンショウウオを育てる中では、それが苦勞でもあり、やりがいだと思います。今も取り組んでいます。

当センター紹介&会員作品展報告

総務委員長 西永 宣昭

令和6年12月16日(月)から12月20日(金)の期間中、東大和市役所のロビーにて「シルバー人材センター紹介&会員作品展」を開催いたしました。

会員作品展は、市役所ロビーで行うことで、広く市民の方々に素晴らしい会員の力作を披露することができました。限られたスペースと貴重な作品を預かるという重責はありましたが、初の試みとしての成果は果たせたものと思えます。シルバー人材センターの紹介コーナーでは、ビデオ放映と広報誌「けやき」の紹介など、シルバー人材センターの認知度を高め、さらに充実・発展を目指すシルバー人材センターのPRを行うことができました。



開催に向けてご協力をいただきました皆様、ご来場された皆様方、誠にありがとうございました。



東大和警察署からの連絡

令和6年1月から11月末までの犯罪発生状況

() 件数は昨年同期比

地域 罪種	東大和警察署管内 (東大和市・武蔵村山市)	東大和市	武蔵村山市
特殊詐欺	36件 (▲5件) 約1億6,450万円	27件 (+7件) 約1億4,700万円	9件 (▲12件) 約1,750万円
侵入盗	22件 (+1件)	12件 (▲4件)	10件 (+5件)
自転車盗	405件 (+92件)	262件 (+73件)	143件 (+19件)

3

海外からの詐欺電話が増えているため、海外との電話が不要な方は、発信を休止(無償)することができます。国際電話の休止は、電話会社、契約者年齢等の条件はあります。

侵入強盗被害に遭わないために

- ① こんな不審者に注意！強盗の下見や物色かもしれない！
- 見かけない人が、家の周辺をうろついている。写真撮影している。
- 電気やガスの点検等と言いつつ、室内に入ろうとする。
- 不要品の買取業者を装って家に入り込み、「貴金属を高く買取る」と言いつつ財産の保管状況を確認しようとする。

② 侵入されないための対策

- 玄関や窓付近の目につきやすい場所に防犯カメラやセンサーライトを設置して防犯対策をアピールしましょう。
- ガラス破りに対しては、防犯ガラスや防犯フィルムが有効です。
- ストアやドームが有効です。
- 来訪者には、ドアを開けず、対応しなくても大丈夫です。
- ホンで玄関ドアを開けず、対応しなくても大丈夫です。
- 鍵を奪う事件が発生しています。金等を取られると大変です。
- 防犯ブザーを身近に置いておきましょう。

2

- ③ 万が一、強盗に侵入されてしまったら、できるだけ落ちついて、犯人を刺激しないように努め、身の安全を確保しましょう。
- 【問合せ先】東大和警察署

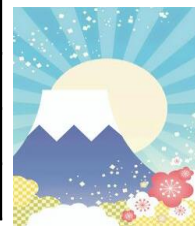
0422-5661-0110
内線2612又は2162
(防犯係)

- ① NIT東日本による家庭電話の詐欺対策
- 相手の番号が表示される番号通知機能(ナンバーディスプレイ)
- 非通知を拒否できる機能(ナンバーリクエスト)
- サイリクスが無料になります。
- ※ 申込み条件は70歳以上、または70歳以上の同居家族がいる契約者
- ② 国際電話の休止(固定電話・ひかり電話が対象)

令和6年12月1日現在

センターの今後の予定				※今後の予定につきましては、状況により変更する場合がございますので、予めご承知おきください。
月	日	曜日	時間	内容
1	8	水	9:00	入会説明会
	15	水	9:00	入会申込日
	21	火		配分金振込 ※年始につき、この日になります。
			予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	30	木	9:00	定例理事会
	31	金	9:00	新入会員研修会
2	12	水	9:00	入会説明会
	17	月		配分金振込
	18	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	19	水	9:00	入会申込日
	27	木	9:00	定例理事会
	28	金	9:00	新入会員研修会
3	12	水	9:00	入会説明会
	17	月		配分金振込
	18	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	19	水	9:00	入会申込日
	27	木	9:00	定例理事会
	28	金	9:00	新入会員研修会

入会説明会に参加を希望される方は、前日までにシルバー人材センターまでご連絡ください。電話042-565-0531



就業相談日		相談時間帯
2025年 1月21日(火)	—	①14:00 ②14:30 ③15:00 ④15:30 ⑤16:00 各時間1名
2月18日(火)	—	
3月18日(火)	—	
—	—	

申し込み期限は、各月第2火曜日までです。電話042-565-0531

●申し込み
電話またはセンター窓口で、事前予約を
してください。

就業相談を
実施しています。

昨年、多くの会員及び各委員会のご協力により、けやき第148〜150号、そして、今回の151号と、順調に発行することができました。今後も、各種イベントや講習会など当センターの情報をより多く提供していきたいと考えています。特に、会員に身近な「おしゃべり広場」は情報共有のコーナーとして生活のプラスにしたいだけますと幸いです。会員皆様の投稿をお待ちしております。

編集後記

令和6年度末（令和7年3月31日）までに退会をお考えの方は、令和7年3月末日までに、退会届を書面にてご提出してください。期日までに提出がない場合、令和7年度の会費2千円をいただくこととなりますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

なお、退会届の用紙は、地域班長、または事務局にてお受け取りください。

事務局からの連絡